

## ?

## 調査概要

調査目的：医師のブランド想起を元に、各プロモーションの有効性を定点的にトラッキング

調査方法：インターネット調査

調査対象：全国の臨床医

有効回答：約10,000s

調査期間：年4回（1・4・7・10月）

調査主体：株式会社インテージヘルスケア

## 製品想起ランキング

※MRは「MRディテール+MRオンライン面談+MR院内説明会」の合計

※医師が製品5つを想起し、各製品の印象を評価。

下記ランキングは印象が「ニュートラル以上(ポジティブ)」のみを分析対象とする。

※下記結果は診療科問わずTOTALで算出（診療科等による絞込みも可）

## SOC

SHARE OF CHANNELS

2024年1月  
TOTAL想起数

- 1 エンレスト
- 2 フォシーガ
- 3 デエビゴ
- 4 タケキャブ
- 5 タリージェ
- 6 ジャディアンズ
- New 7 ビラノア
- 8 リベルサス
- New 9 パルモディア
- 10 グーフィス

2024年1月  
MR想起数

- 1 エンレスト
- 2 フォシーガ
- 3 パルモディア
- 4 ツイミーグ
- 5 ジャディアンズ
- 6 マンジャロ
- 7 ゾフルーザ
- 8 タリージェ
- 9 リベルサス
- 10 オスタバロ

2024年1月  
ノンプロ想起数

- 1 エンレスト
- 2 タケキャブ
- 3 デエビゴ
- 4 フォシーガ
- 5 タリージェ
- 6 カロナール
- 7 ビラノア
- 8 ロキソニン
- 9 ジャディアンズ
- 10 リベルサス

IMPACT  
TRACK2023年10-12月  
MR宣伝回数

- 1 フォシーガ
- 2 エンレスト
- 3 グーフィス
- 4 ジャディアンズ
- 5 リベルサス
- 6 タケキャブ
- 7 パルモディア
- 8 デエビゴ
- 9 タリージェ
- 10 マンジャロ

## SOC2024年1月 TOTAL想起数No.1はエンレスト

全チャンネル総合で最も想起された薬剤はエンレストであった。エンレストはMR想起数・ノンプロモーション想起数のいずれにおいても1位を維持し、2021年10月以降連続してTOTAL想起数No.1を獲得している。

全チャンネル総合の想起数トップ10薬剤の顔ぶれはほぼ変わっていないが、マンジャロ、アミティーザにかわり、ビラノアが7位、パルモディアが9位にランクインした。

本調査結果・SOCに関するお問い合わせ [✉ ant-syndicated@intage.com](mailto:ant-syndicated@intage.com)

\*記事本文・データ転載をご希望の際は、上記メールアドレスにご連絡ください

SOC調査では**純粋想起**により、医師1人あたり5製品を回答いただきます。**最初に想起した製品 = 最もマインドシェアが高い製品**と仮定し、5製品想起全体（TOTAL）における想起No.1と、5製品のうち最初に想起した製品（第一想起）の想起No.1に違いがあるのかを主診療科ごとに確認しました。その結果、多くの診療科において、TOTAL想起No.1と第一想起No.1は同じ製品でした。

主診療科	TOTAL	第一想起
一般内科	エンレスト	エンレスト
循環器内科	エンレスト	エンレスト
消化器内科	タケキャブ	タケキャブ
呼吸器内科	テリルジー	テリルジー
血液内科	エブキンリ	エブキンリ
糖尿病内科	マンジャロ	マンジャロ
リウマチ科	リンヴォック	オルミエント
腎臓内科	フォシーガ	フォシーガ
神経内科	レケンビ	レケンビ

主診療科	TOTAL	第一想起
一般外科	グーフィス	ページニオ
心臓血管外科	エンレスト	サムスカ
消化器外科	タケキャブ	オブジーボ
呼吸器外科	タグリッソ	タグリッソ
整形外科	タリージェ	タリージェ
脳神経外科	エンレスト	エムガルティ
乳腺外科	ページニオ	フェスゴ
産婦人科	レルミナ	レルミナ
皮膚科	デュピクセント	デュピクセント

主診療科	TOTAL	第一想起
泌尿器科	ベオーバ	ベオーバ
耳鼻咽喉科	ピラノア	ピラノア
精神科	レキサルティ	レキサルティ
眼科	ジクアス	ジクアス
小児科	モイゼルト	モイゼルト
放射線科	ガドピスト	ガドピスト
麻酔科	ブリディオオン	アネレム
救急科	オンデキサ	リコモジュリン

はTOTALと第一想起のNo.1が異なる診療科

\* 想起製品ごとに、何番目に想起されているのかその構成比を確認することも可能です。想起順に関連する追加集計・分析はインテージヘルスケアにて承ります。ご興味のある方は、以下アドレスもしくは担当者へご連絡ください。

2024年1月度SOC調査では、製薬会社からの情報提供について「Q1.医師が求める情報の種類と提供手段」「Q2.メーカー全体としての情報提供活動の評価」を追加設問として聴取いたしましたので、一部サマリーをご報告させていただきます。

## 情報提供活動の総合評価をメーカー別に把握

Q2.手段を問わず、情報提供活動を総合的に評価できるメーカーをお知らせください。（指定50社から最大10社を選択）

### 情報提供活動における総合評価率ランキング

TOTAL				100床以上				99床以下			
順位	23/10からの順位変動	メーカー	総合評価率(%)	順位	23/10からの順位変動	メーカー	総合評価率(%)	順位	23/10からの順位変動	メーカー	総合評価率(%)
1位	-	第一三共	23.1	1位	-	大塚製薬	21.5	1位	-	第一三共	27.1
2位	-	大塚製薬	22.3	2位	-	第一三共	20.7	2位	↑	大塚製薬	23.7
3位	-	MSD	20.2	3位	-	MSD	18.3	3位	↓	MSD	23.4
4位	-	武田薬品	18.4	4位	-	武田薬品	18.2	4位	-	アステラス製薬	19.8
5位	-	アステラス製薬	17.2	5位	-	アストラゼネカ	17.3	5位	↑	田辺三菱製薬	19.2

\* 評価をした理由は聴取しておりませんが、弊社シンジケートデータ(SOC/ImpactTrack/Rep-i)と組み合わせ分析が可能です

情報提供活動における総合評価率ランキング上位3メーカーは、TOTALで1位 第一三共、2位 大塚製薬、3位 MSDであった。TOTALと100床以上の上位5メーカーは前回2023年10月度と変わらない結果となった。99床以下においては大塚製薬とMSDの順位が入れ替わり、5位には武田薬品にかわって田辺三菱製薬がランクインした。

\*本追加設問にご興味ございましたら、以下アドレスもしくは担当者へご連絡ください

本調査結果・SOCに関するお問い合わせ [✉ ant-syndicated@intage.com](mailto:ant-syndicated@intage.com)

\*記事本文・データ転載をご希望の際は、上記メールアドレスにご連絡ください